

## 沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年10月16日）

### 1 主な報告等

#### (1) 在沖米軍関係者に対する犯罪抑止対策について

委員から、米軍に対して積極的に働きかけ、幹部から基地内ハイスクールの生徒までそれぞれに応じた講話を開催したことは非常によい取組だ。犯罪抑止や非行防止はもちろん、日本の法制度やマナー等への理解にもつながるだろう。今回は海兵隊を対象に行っているが、陸海空軍や軍属に対しても何ができるか検討してほしい。受講者からの質問も、具体的な内容を知りたがっていることがうかがえるので、これからも是非継続して取り組んでほしい旨の発言があった。

#### (2) 進行型殺傷事案対処訓練の実施について

委員から、犯人が刃物を持って暴れているという事案は、いつ、どこで発生するかわからない。経験値がないと対処できないので、非常に重要な訓練だ。また、常にチームで対応できるとは限らない。場合によっては一人で対応しなければならないこともあり得るだろうから、考え方を整理しておく必要があると思う。犯人と対峙しなければならないのは大変だと思うが、県民を守ることができるのは警察だけである。どうしてよいかかわからないまま受傷事故を負ってしまったということにならないよう、日頃からしっかり訓練を積んでほしい旨の発言があった。

#### (3) 糸満市職員らによる公園整備事業の遊具選定をめぐる贈収賄事件の検挙について

委員から、捜査本部の皆さんが入念に捜査を行い、各種証拠を細かく積み上げていった結果、被疑者の検挙、起訴に結びついたのだろう。ここまで至るには相当大変だったことと思う。これからも社会に不正をのさばらせないように、摘発に努めてもらいたい旨の発言があった。

#### (4) サイバーテロ対策協議会総会及びセミナーの開催について

委員から、情報技術は日進月歩の勢いで進み、サイバー攻撃も年々巧妙化している。防御対策も重要だが、発生してしまった事後対策も必要不可欠だ。今回、協議会総会を開催し、情報交換や有識者による技術的実習を行ったことは非常に有意義なことだ。特に沖縄は島しょ県であり、空港や港湾などのインフラが攻撃に遭えば物量もストップして、社会は大混乱に陥ってしまう。未加入のインフラ事業者にも県警から積極的に参加を呼びかけ、サイバーテロ対策をリードしてほしい旨の発言があった。

#### (5) その他

警察本部から、県内の犯罪情勢や日本の法制度、犯罪被害者が置かれた状況などについて理解を深めてもらうことにより事件事故の抑止を図ることを目的として、米軍関係者に対して各種講話を実施した。今後も関係当局とコミュニケーションをとりつつ、効果的な取組を考えていきたい旨の発言があった。

## 2 主な決裁等

### (1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について（3件）
- ・ 第3四半期警察宛て苦情の受理及び処理状況について
- ・ 裁決書の裁決について

### (2) 地域部

- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について

### (3) 刑事部

- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について

### (4) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について